

令和2年度 自己評価及び学校関係者評価表

学校法人 光明学園
泉北光明幼稚園

1. 教育目標

～たくましい心・育てたい～	自然に伸びる力と可能性を子ども達の発達に応じて引き出す指導
【望ましい幼児像】	
・健康でいきいきとした子ども	(健康性)
・感情の安定した子ども	(安定性)
・自主的に何でも自分でしようとする子ども	(自主性)
・協力的に何でも自分でしようとする子ども	(協調性)
・創造性でよく考える子ども	(創造性)
・思いやりがある心豊かな子ども	(情操性)
・粘り強く集中できる子ども	(集中性)

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

<p>・幼稚園の教育課程の内容を確認・理解し、自己点検・自己評価を実施することによって、教育内容の改善点を教職員と共通し、取り組んでいく。</p> <p>また、計画については地域や保護者と連携し、本園のあるべき姿を確立する事を重点項目とする。</p>

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組状況
教育課程・指導計画が作成されているか	B	子どもをまんなかに考え指導をしていく為に、どのような保育をしていくか計画を立て、「家庭との連携」を進めて行ったが、個人差もあり、保護者には具体的に説明し、協力を求めている必要がある。
教員の資質向上	B	昨年に続き、幼児の発達段階に応じて対応出来るよう、取り組みを行っており、情報交換・研修への参加等、教員の資質向上が見受けられ、引き続き意識向上に努めている。
安全・衛生点検に心がけているか	A	昨年に引き続き、伝染性疾病が広がらないよう発生時には保護者に伝え、健康管理への注意を促す。また避難訓練、交通安全講習等を警察、消防等と連携して行い、危機管理や意識を高めるよう努める。
地域交流と貢献を心がけているか	B	幼保連携会議への参加、就学前の小学校との交流等、地域交流に努めている。
設備環境構成	A	業者による定期点検に加え、常に子どもにとって危険はないかを点検確認する。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・各学年または各クラスの、足並みが揃うよう事例をあげながらの話し合い、園全体の調和がとれるよう努力したことにより、目標が具体的に見えるようになった。
- ・今の子ども達の状態をしっかりと見直し、丁寧な保育が出来るように、また保護者への発信などを考えるようにしていく。

5. 今後の取り組むべき課題

教職員間で課題を明確にする	<ul style="list-style-type: none">・保護者の思いを理解し、少人数であるが故の特色を生かして、子ども達一人一人の性格を理解し、保護者に伝え、安心して登園できるようにしていく。・子ども達に対して、今何が必要かを考えて行動できるようにする。
保育を振り返る為の在り方	<ul style="list-style-type: none">・姉妹園での職員間の情報交換を行い、共通理解をして行動に移せるようにする・次の課題を保護者の方に伝え、一緒に子どもの成長を考えられるようにしていく。

6. 学校関係者評価

- ・行事ごとの取り組みの中で、子ども達の成長を感じた。
- ・先生方はみんな明るく優しく熱心に指導してくれていると思った。
- ・施設の評価もよく、少人数での保育だからこそその安心感がある。
- ・子どもが興味を持つ活動が多く、たくさんの経験が出来ている。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。